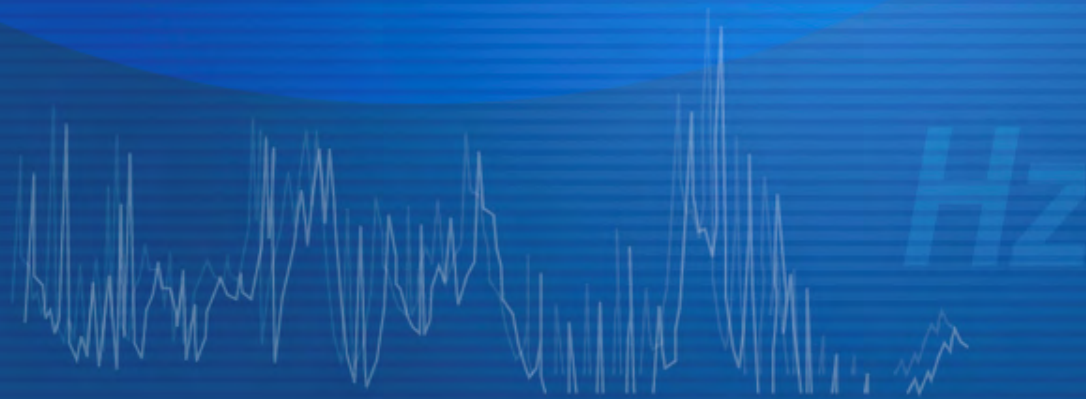
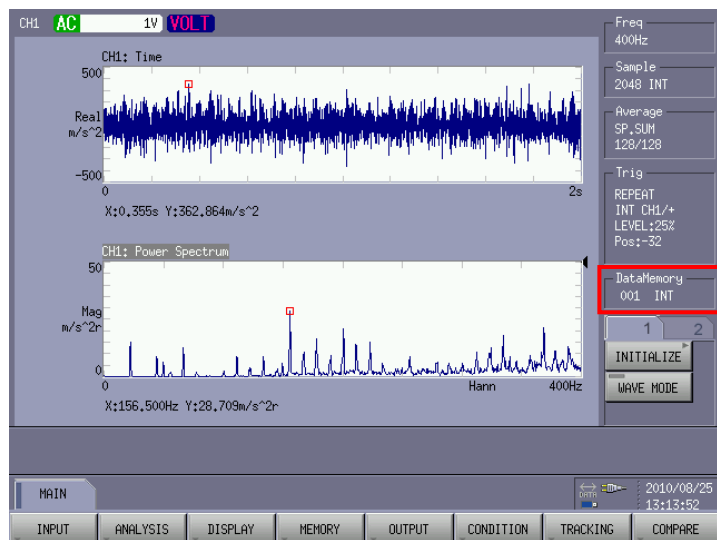


CF-4500 FFTコンパレータ メモリーの操作方法



CF-4500では本体に**データメモリーとして300ファイル**、**測定条件メモリーとして50ファイル**それぞれメモリーする事ができます。各々のファイルはUSBメモリーへバックアップをとったり、ストレージクラスでPC上に保存する事も可能です。



保存場所(ブロック番号)を表示

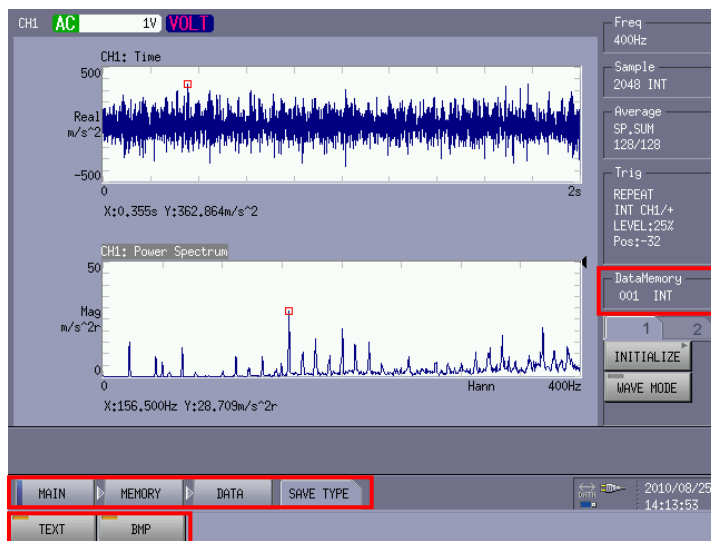


メモリー実行キー

1. 保存するファイルのタイプを設定。

ソフトキーの操作

メインメニュー



STOREキーを押す度に番号が更新されます。

TEXT

テキストファイル(エクセル等で開く事が可能)

BMP

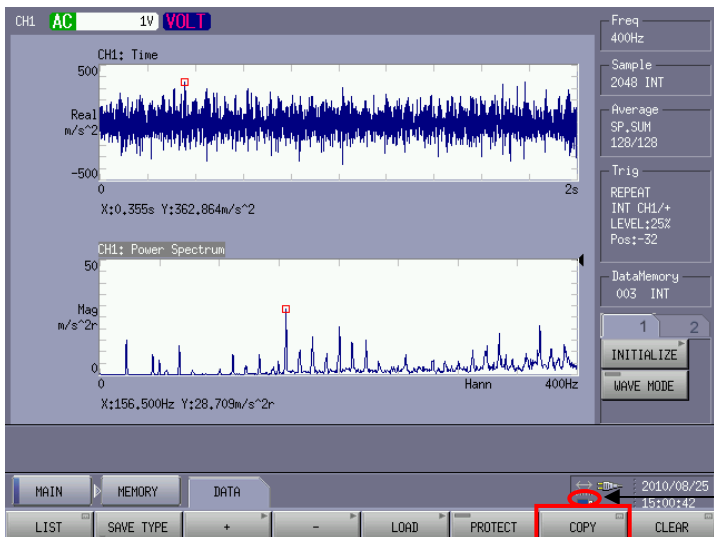
画像ファイル

※TEXTとBMPが選択してあるとSTOREキーを押す度にバイナリ、テキスト、ビットマップの3種類同時ファイルできます。

2. USBメモリーへコピーする場合

メインメニュー

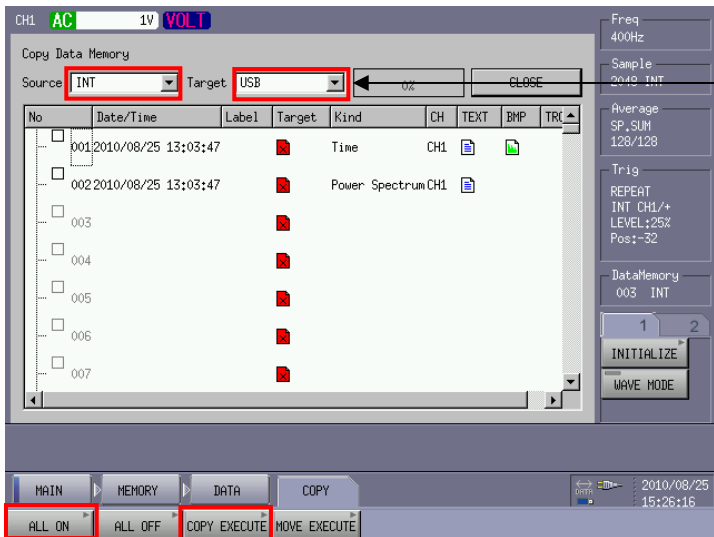
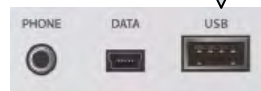
ソフトキーの操作



USBメモリーが認識されていれば濃紺色になります。



使用するUSBメモリーは
TranscendまたはSanDisk製の
2GBを推奨



CF-4500本体のメモリーをUSBメモリーへコピーする場合は
SourceがINTでTargetがUSB

ALL ON

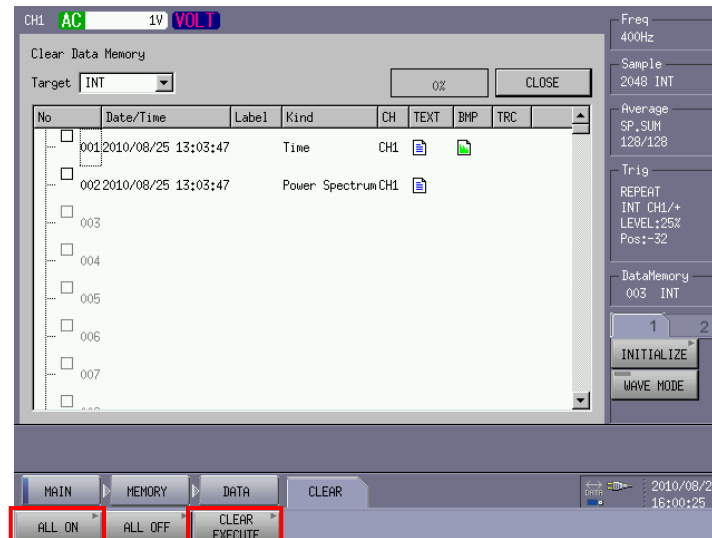
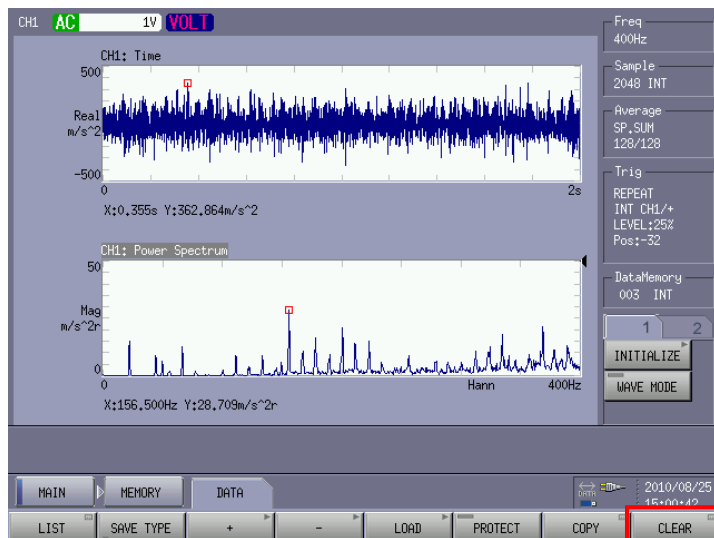
本体にメモリーしてある全てのファイルを選択

※一部のデータのみ保存したい場合はブロック番号の左横に
チェックマーク(✓)を入れて下さい。

COPY EXECUTE

USBメモリーへコピーの実行

3. 本体のメモリーデータをクリアする場合



ALL ON

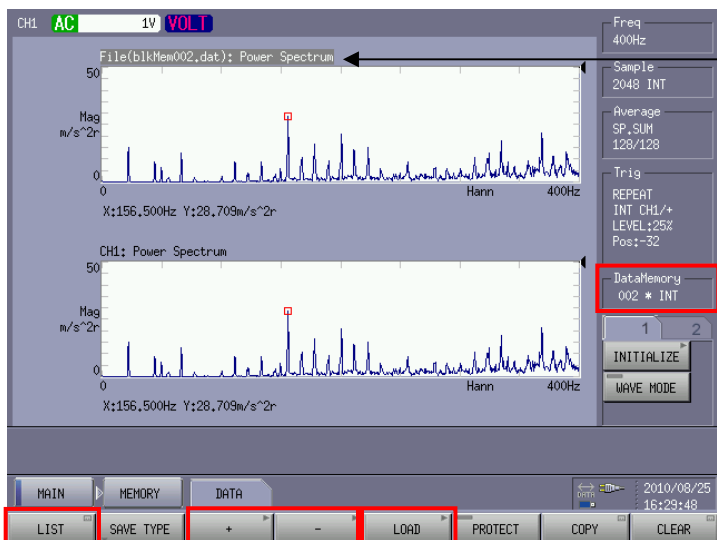
本体にメモリーしてある全てのファイルを選択

※一部のデータのみクリアしたい場合はブロック番号の左横にチェックマーク(✓)を入れて下さい。

CLEAR EXECUTE

データのクリアを実行します。

4. メモリーデータを本体の画面に読み出す場合

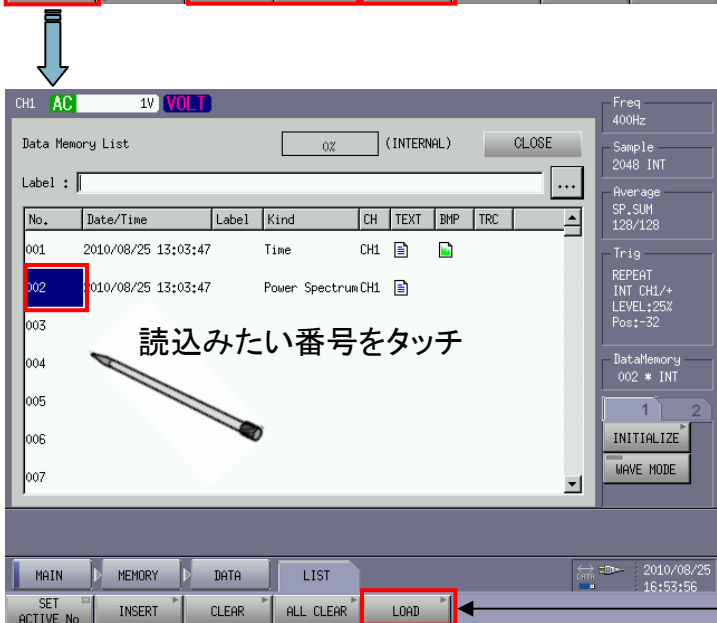


2画面表示の場合、アクティブ画面（画面左上が反転表示になっている）にファイルデータが読み込まれます。

ファイルが存在する番号にはアスタリスク(*)がつきます。

+ - ファイル番号を増減します。

LOAD ファイルデータを画面の上に読み込みます。

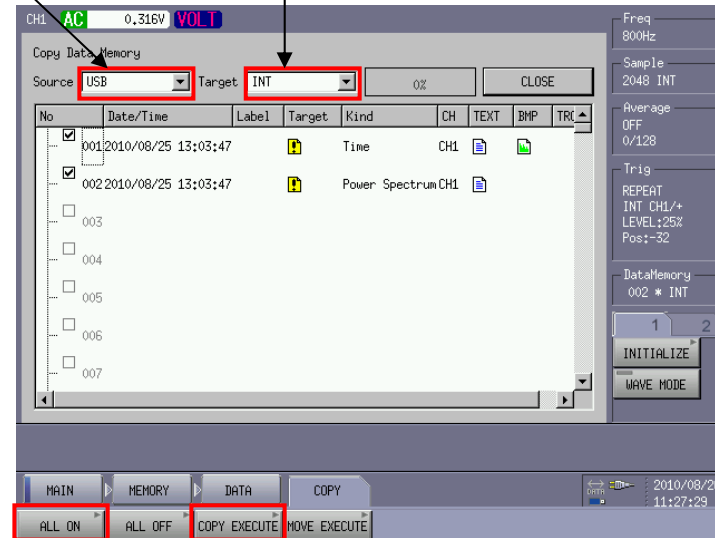
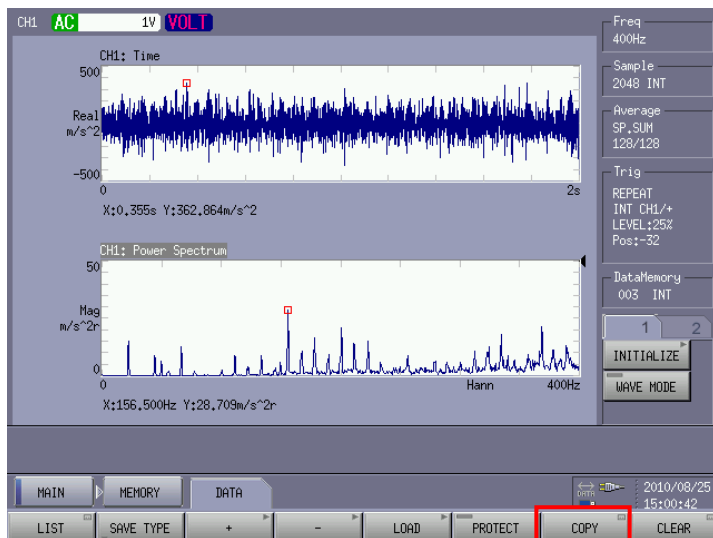


リスト表示からデータを読み出す場合はLISTを押してリスト表示画面を表示し、読み出したいファイル番号をタッチして選択し、LOADで実行します。

LOADを押して読み出し

5. USBメモリーにコピーしたファイルをCF-4500本体に戻す

コピー元をUSBメモリーにする コピー先をCF-4500本体を指定



ALL ON

USBメモリーにメモリーしてある全てのファイルを選択

C EXECUTE

データのコピーを実行します。

測定条件メモリの取扱い方法

CF-4500では測定条件(判定条件を含む)を50ファイルメモリーする事ができます。任意の測定条件を本体起動時に読み出す事も可能です。また外部リレー機能を使用して全15種類の測定条件を本体にセットする事も可能です。

1. 測定条件のメモリー

ソフトキーの操作

メインメニュー



保存したい番号をタッチします。



No.	Date/Time	Label	Start Up
001	2010/08/26 19:40:44		
002	2010/09/02 20:08:58		*
003			
004			
005	2010/09/08 13:29:42		
006			
007	2010/08/12 11:18:52	TIME-PEAK-YA-62BH-1	

SAVEキーで保存実行します。

読み込む場合はLOADを押します。

2. 本体起動時に任意の条件を立ち上げる

立ち上げたい条件の番号を
タッチします。

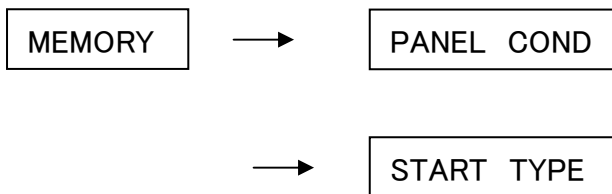


No.	Date/Time	Label	Start Up
001	2010/08/26 19:40:44		
002	2010/09/02 20:08:58		
003	2010/09/09 14:15:21		*
004			
005	2010/09/08 13:29:42		
006			
007	2010/08/12 11:18:52	TIME-PEAK-YA-62BH-1	

START ENTRYキーを押します

ソフトキーの操作

メインメニュー



スタートタイプをSELECTにします。

CH1: Power Spectrum

Mag dBVr

10dB/

0

X:0verAll Y:-47.41dBVr

Hann

2kHz

3. USBメモリーへファイルをコピーする

ソフトキーの操作

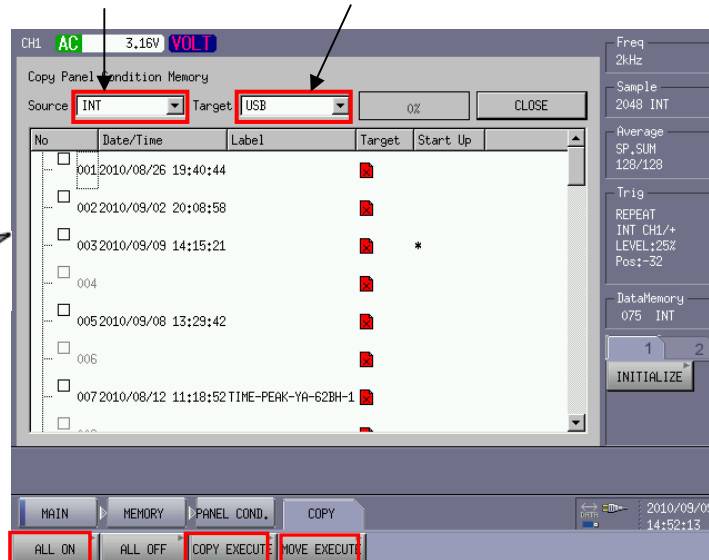
メインメニュー



コピー元をCF-4500本体を指定

コピー先をUSBメモリーにする

任意の条件ファイルのみコピーする場合、その番号のチェックボックスにチェックマーク(✓)を入れます。



ALL ON

全てのファイルをコピーする場合、ALL ONを選択します。

COPY EXECUTE

ファイルのコピーを実行します。

MOVE EXECUTE

ファイルを切り取って移動します。

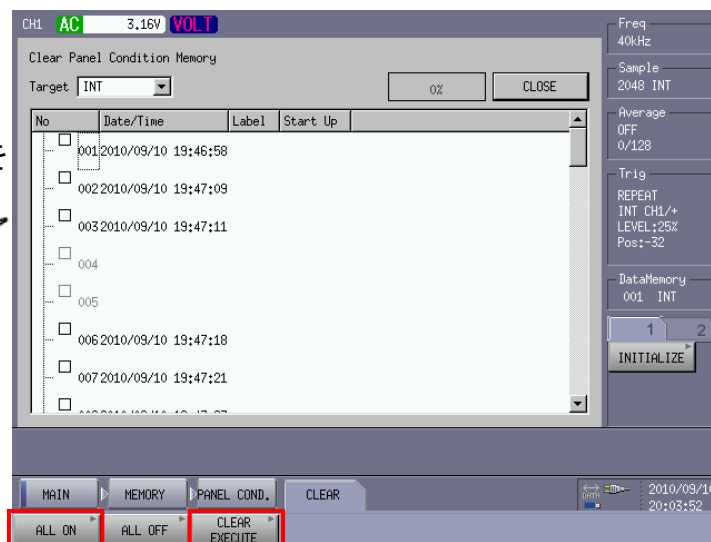
4. 測定条件ファイルをクリアする

ソフトキーの操作

メインメニュー



任意の条件ファイルのみクリアする場合、その番号のチェックボックスにチェックマーク(✓)を入れます。



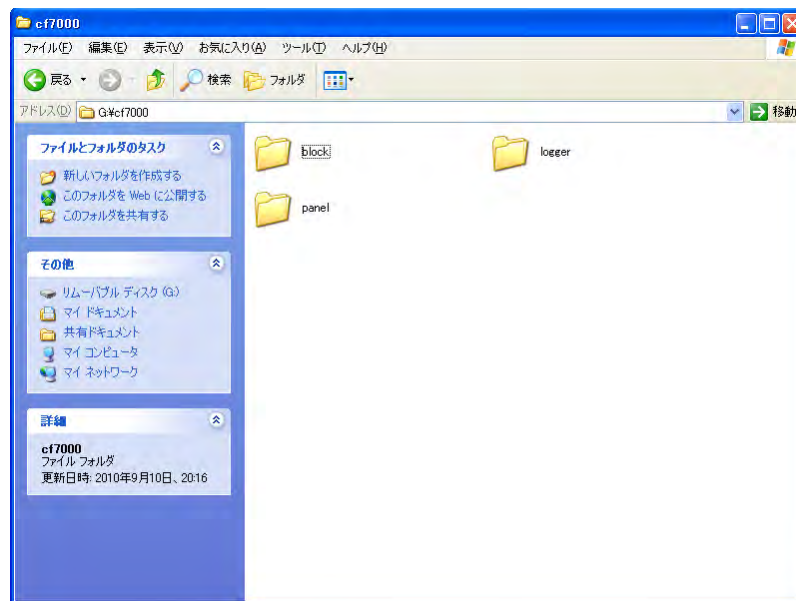
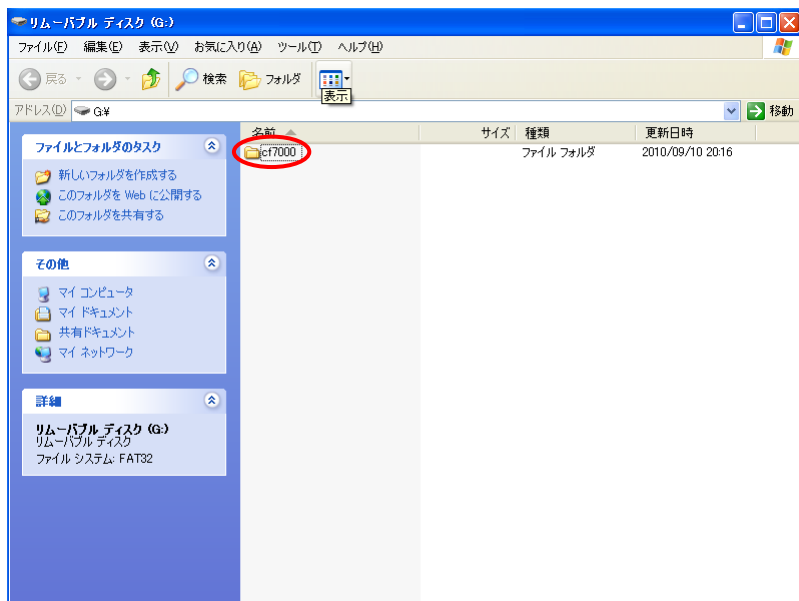
ALL ON

全てのファイルをクリアする場合、ALL ONを選択します。

CLEAR EXECUTE

ファイルのクリアを実行します。

CF-4500本体のデータをUSBメモリーにコピーするとルートにcf7200というフォルダができます。その下にそれぞれblock、panel、loggerというフォルダがあります。



block データメモリーが格納されています。



panel 条件メモリーが格納されています。